

第78回・第79回 総会報告

2026年度事業計画・収支予算

2025年度事業報告・収支決算

新役員のご紹介

2026年3月の総会で2026年度の事業計画と収支予算が、6月の総会では2025年度の事業報告・収支決算・新役員が会員の皆様に承認されました。ここでは、それぞれの概要についてご紹介いたします。資料に関しては、JPNICのWebをご参照ください。

第78回JPNIC総会(臨時)
<https://www.nic.ad.jp/ja/materials/general-meeting/20260317/>



第79回JPNIC総会(通常)
<https://www.nic.ad.jp/ja/materials/general-meeting/20260615/>



第78回JPNIC総会(臨時) 2026年事業計画・収支予算

2026年度事業計画

2026年度の事業計画案の作成にあたり、事業環境・背景を整理し、以下を注力項目として説明しました。

JPNIC全体に関わる事項

- 一般社団法人としてのコーポレートガバナンス強化
- 事業運営における危機管理・危機対応の強化および体制整備

IPアドレス事業

- クラウドサービスを適切に活用したIPレジストリシステムの冗長性・堅牢性の向上
- 文書体系の見直しによる資源管理業務の透明性・公正性の維持

インターネット基盤整備事業

- インターネット基盤に関わる人材育成への取り組み
 — 2025年度調査研究を踏まえた育成モデル・枠組みの構築検討
- インターネットの社会的影響とその対処
 — 国内IGF体制の確立および活動の推進
- インターネット基盤に関するセキュリティ技術の普及
 — セキュリティ技術の普及・定着に向けたコミュニティ連携

2026年度収支予算

2025年4月1日からの公益法人会計基準の改正を踏まえ、JPNICでは2025年度決算から同改正基準を適用する予定です。これに伴い、2026年度予算書についても新基準に基づく形式としました。

2026年度予算案の収入については、2026年4月のIPアドレス・AS番号維持料改定などにより、2025年度予算比で8,400万円増の6億6,200万円としています。

一方、費用については、レジストリシステムのクラウド移行、APNIC会費の値上げ、その他諸経費の増加を見込み、2025年度予算比4,500万円増の6億3,900万円としました。

その結果、当期経常収益費用差額(従来の当期経常増減額)は2,300万円となり、2025年度当初予算の▲1,500万円から大幅な改善となります。

経常収益予算 661,910,000円(前年度比 +84,000,000円)

経常費用予算 638,660,000円(前年度比 +45,340,000円)

当期経常収益費用差額 23,250,000円(前年度比 +38,660,000円)

会員の皆様にお諮りした結果、2026年度事業計画、2026年度収支予算とも、上記の内容にて承認されました。

第79回JPNIC総会(通常) 2025年度事業報告・収支決算、新役員選任

2025年度事業報告

2025年度に実施した事業内容について、ポイントとなる点を中心にお伝えします。

事業報告書では、表やグラフ、写真を織り交ぜつつ、読みやすくまとめてあります。併せてご覧ください。

JPNIC全体に
関わる事項

- JPNIC全体に関わる事項については、第76回総会で承認された事業計画に基づき、2事業体制のもと各事業を着実に実施しました。
- 法人運営においては、人事制度の見直しや財務管理方針の明文化により運営基盤の強化を図るとともに、会員情報管理システムの刷新により会員の利便性向上を進めました。また、2025年度決算に向けて新公益法人会計基準への対応準備にも取り組みました。

IPアドレス事業

- 資源管理業務においては、2026年度からのIPアドレスおよびAS番号維持料改定に向け、改定内容の周知や見込額通知などを行い、円滑な移行準備を進めました。また、新たな認証方式についてはパイロット導入を行い、今後の本格移行に向けた検証を進めました。レジストリシステムについても、クラウド移行に向けた計画見直しと段階的な対応を進めています。
- ルーティングレジストリ業務においては、ROA作成促進の結果、カバー率はIPv4、IPv6ともに70%台後半まで向上しましたが、PI（プロバイダ非依存）アドレスに関しては引き続き課題が残ってます。JPIRRおよびRPKIサービスは安定運用を維持しつつ性能改善を行い、JANOG等を通じた普及啓発も実施しました。
- 国際調整の分野では、TWNIC(Taiwan Network Information Center)およびKISA(Korea Internet & Security Agency)との協力覚書締結やAPNIC等の国際会議への参加を通じ、国際連携を強化しました。

インターネット
基盤整備事業

- 情報提供においては、メールマガジンやブログ等による継続的な発信に加え、Webの拡充を進めました。また、JP-DRP関連資料の改訂や25周年シンポジウムの開催を通じ、ドメイン名利用に関わる理解促進に取り組みました。
- 人材育成では、Internet Week 2025の開催や技術セミナーの再編、実践型教育プログラムの実施により、若手技術者の育成を進めました。
- 社会課題への対応では、フィッシング対策やメールセキュリティ対策、オンラインカジノ問題等に関する検討に参画しました。
- インターネットガバナンス分野では、世界情報サミットの20周年評価(W SIS+20レビュー)への対応や国内IGF活動の推進を進め、新法人設立にも連携して取り組みました。
- セキュリティ技術の普及として、RPKI、ROV、DMARC、DNSSECの導入促進や効果検証を行い、インターネット基盤の信頼性向上に寄与しました。

2025年度収支決算

経常収益は、主に資産運用益、受託調査研究による事業収益、配当金の増加の影響により、前年度比3,000万円増となりました。一方、経常費用は、人事制度の改定による人件費増、APNIC会費値上げ

の影響や保守料等の値上げにより、こちらも前年度比で3,700万円増加となりました。決算説明と併せて、報告事項である「公益目的支出計画実施報告」も法令に基づき行いました。

経常収益合計 619,880,495円（前年度比 +30,390,084円）

経常費用合計 580,992,431円（前年度比 +37,176,298円）

経常収益費用差額 38,888,064円（前年度比 -6,786,214円）

会員の皆様にお諮りした結果、2025年度事業報告、2025年度収支決算とも、上記の内容にて承認可決されました。

役員改選

第79回JPNIC総会では役員改選も行われ、理事20名、監事3名が選出されました。

今回の改選において、JPNICが社団法人となった1997年3月から長年にわたり理事を務めた野村純一さんが退任となり、新たに広島大学の近堂徹さんが理事に選出されています。

総会に続いて行われた第170回理事会で、理事長に江崎浩が、副理事長には曽根秀昭と、長谷部克幸の2名が引き続き選出されました。

選任された役員の一覧とそれぞれの役割については次ページの「新役員のご紹介」をご覧ください。

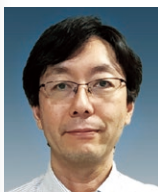
新役員 の ご紹介

役職順に50音順、氏名の下は所属、
中段 ■■■ 枠内はJPNIC内での分担、
下段はこれからの2年に向けての抱負

役員の写真は
2026年6月15日時点のものです

副理事長(代表理事)

理事会
推薦



長谷部 克幸

NTTドコモビジネス株式会社
第二ビジネスソリューション部
担当部長

執行理事・人事委員会委員 認証局運営委員会委員 BCM委員会委員長
評議委員会担当理事 分野担当(インターネットガバナンス、ドメイン名)

AIによる急速な進化を的確に取り込み、インターネット基盤のさらなる発展と安全性向上に貢献するとともに、次世代を担う人材育成を推進し、持続可能なネット社会の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

理事長(代表理事)

理事会
推薦



江崎 浩

東京大学 大学院
情報理工学系研究科
教授

執行理事・人事委員会委員 認証局運営委員会委員
分野担当(セキュリティ、グローバル)

AIが激変させるデジタルインフラは、インターネットの基盤の上に構築される。健全なインターネットの維持と拡張がJPNICの使命であり、その重要性を再認識し、活動の継続と高度化に貢献したい。

副理事長(代表理事)

理事会
推薦



曽根 秀昭

東北大学
名誉教授

執行理事・人事委員会委員 認証局運営委員会委員
分野担当(DRP)

引き続き、広い範囲からのJPNIC会員様にご参加いただけるよう、また情報発信に貢献したいと思います。JPDメイン名紛争処理方針の分野では引き続き検討委員会のご協力も得て、実施事例の分析や将来像に基づき安定した運用の実現が大切と考えます。

常務理事

理事会
推薦



宇井 隆晴

株式会社
日本レジストリサービス
取締役

認証局運営委員会委員長
分野担当(技術的課題)

インターネットを取り巻く課題が、技術、社会、経済、国際関係の境界を越えて複雑化する中で、コミュニティを繋ぐJPNICとして、オープンで信頼されるインターネットの価値を守り、健全な発展に貢献していききたいと思います。

常務理事

理事会
推薦



関谷 勇司

東京大学 大学院
情報理工学系研究科
教授

執行理事・人事委員会委員 認証局運営委員会委員
資産運用委員会委員 BCM委員会委員 分野担当(ドメイン名)

国際情勢の変化によりインターネットの分断が懸念される現状を踏まえ、オープンで相互接続されたインターネットの理念に立ち返り、持続可能なデジタル社会の実現に貢献するとともに、次世代を担う人材育成に努めます。

常務理事

理事会
推薦



藤崎 智宏

NTTドコモビジネス株式会社
情報セキュリティ部
サイバーセキュリティ部門
第三グループ 担当部長

執行理事・人事委員会委員 認証局運営委員会委員
分野担当(IPポリシー、グローバル)

フロンティアAIの進展など、インターネットを取り巻く環境が大きく変化する中、JPNIC理事として、社会基盤としてのインターネットの安定的な運用と発展に向け、技術・政策両面の課題解決に取り組んでまいります。

常務理事

理事会
推薦



松崎 吉伸

株式会社インターネットイニシアティブ
基盤エンジニアリング本部
運用技術部 技術開発課
プリンシパルエンジニア

執行理事・人事委員会委員 認証局運営委員会委員
分野担当(IPポリシー、IPv6推進、グローバル)

インターネット基盤を支える組織の一員としての責務を着実に果たし、国内外の関係者との連携を大切にしながら、持続的で信頼性の高い、より良いインターネット社会の実現に貢献していききたいと思います。

常務理事

理事会
推薦



三膳 孝通

株式会社
インターネットイニシアティブ
技術主幹

執行理事・人事委員会委員 認証局運営委員会委員 BCM委員会委員
情報セキュリティ委員会委員長 分野担当(インターネットガバナンス)

インターネットの普及に伴い、JPNICに求められる役割も変わってきました。その期待に適切に応える組織力構築を、技術的知見から進めてまいります。

理事

理事会
推薦



浅井 大史

株式会社
Preferred Networks
経営企画本部フェロー

分野担当(技術的課題)

AI技術の普及に伴う環境の変化に対して、インターネットの社会基盤としての重要性がより増しています。その技術的課題の解決に取り組み、グローバルなインターネットの維持発展に貢献したいと考えています。

理事

会員
推薦 1



岩谷 理恵

株式会社
日本レジストリサービス
取締役 総務本部長

資産運用委員会委員

現在においては、インターネットを利用していることを認識しないで使っている時代になっています。あたりまえのようにスマホやAIを使っていますが、その根本にはインターネットがあります。そのあたりまえを支え、安全に使えるためには何ができるのか、何をすべきかを考えながら社会的貢献できるような活動していきたいと思います。

理事

会員
推薦 2



岡田 雅之

長崎県立大学
情報システム学部
教授

分野担当(セキュリティ)

インターネット運用の現場で培った知見を活かし、次世代を担う技術者の育成と、安全・安定したインターネット基盤の維持発展に全力で取り組んでまいります。

理事

理事会
推薦

クロサカ タツヤ

株式会社 企
代表取締役

分野担当(インターネットガバナンス、社会的課題)

昨日使えたインターネットが今日だけでなく明日も使えること。その実現のために、「私が楽しいと思うインターネット」を守り、高めるための貢献を、自分事として果たしていきたいと思っています。

理事

理事会
推薦

近堂 徹

広島大学
情報メディア
教育研究センター
教授

分野担当(IPv6推進)

地域に根ざしたIPv6の普及活動を通じて培った経験を活かし、次世代を担う学生や若手技術者の育成、世代を越えたコミュニティ形成に取り組みながら、IPv6をはじめとするインターネット技術の発展に貢献したいと考えています。

理事

理事会
推薦

鶴 昭博

株式会社JPIX
代表取締役社長

資産運用委員会委員

変化と分断が進む時代にこそ連携と協力の価値を堅持し、これまでの経験を活かしてインターネットの健全な発展とより良い社会の実現に貢献します。

理事

理事会
推薦

友近 剛史

NTPCコミュニケーションズ株式会社
常務取締役 ネットワーク事業部長 兼
イノベーション推進部長、CTO

分野担当(技術的課題)

生成AIをはじめとするデジタル技術の進展により、インターネットは情報流通にとどまらず、社会活動や産業活動を支える基盤として一層重要性を増しています。安心・安全で信頼できるインターネットの維持・発展に向け、JPNICの活動を通じて貢献してまいりたいと思います。

理事

会員
推薦3

中西 貴裕

岩手大学
情報基盤センター
准教授

分野担当(非営利・地域)

全国のIPアドレス管理指定事業者やPIアドレスホルダーの皆様、ならびに非営利の皆様とともに課題に取り組んでいけるよう、皆様に向けた情報提供や、ご意見をうかがえる議論・交流の場の提供に努めてまいりたいと考えております。

理事

理事会
推薦

中村 素典

京都大学
情報環境機構
教授情報セキュリティ委員会委員
分野担当(DRP、セキュリティ)

DRP(ドメイン名紛争処理)の適切な運用に加え、インターネットの将来を見据えた認証技術・基盤の整備、ならびにインターネットを支える人材育成のための環境づくりを中心に、引き続き貢献してまいります。

理事

会員
推薦4

橋川 和利

ケーブルテレビ徳島株式会社
技術本部 放送技術部

分野担当(非営利・地域)

今後もさらに重要となるインターネット基盤について、新たな技術等に注視しながら、コミュニティを通じて地域の課題を解決する仕組みを取り入れたら、若手技術者の育成を支援してまいりたいと思います。

理事

理事会
推薦

馬場 聡

北海道総合通信網株式会社
企画部 部長

分野担当(社会的課題)

AI時代に顕在化するセキュリティ・ガバナンス・人材の課題に向き合い、議論と提言を通じて持続可能なインターネット基盤を支え、JPNICの信頼と価値向上に貢献してまいります。

理事

会員
推薦5

穂坂 俊之

株式会社QTnet
執行役員
経営戦略本部長

分野担当(非営利・地域)

インターネットを支える基盤は、政府のデジタルインフラ地方分散政策により、大都市集中から各地域への広がりを模索する大きな転換期を迎えています。この機を捉え、地方からインターネットの強化と地域経済の活性化の双方に貢献できるよう、尽力してまいります。

監事

理事会
推薦

青木 邦哲

株式会社ASI
代表取締役社長

監事として、理事会や業務執行の適切性を独立した立場から確認するとともに、リスク管理や内部統制の実効性向上に貢献してまいります。また、変化の大きいインターネット環境や社会的要請を踏まえ、中長期的視点を持った健全な組織運営に寄与できるよう努めてまいります。

監事

理事会
推薦

高田 寛

株式会社まほろば工房
取締役
最高技術責任者

人事委員会委員

JPNICの健全な運営、コンプライアンスを徹底し、またインターネット基盤の健全な発展と、インターネットを用いたさまざまなサービスの発展に貢献すべく、尽力していく所存です。

監事

理事会
推薦

南 雄一

ビッグロブ株式会社
執行役員
プロダクト技術本部
副本部長

日本のインターネットのさらなる発展と安定運用、ならびに新たなイノベーションの創出に向け、健全で透明性の高い組織運営を支えるJPNIC監事として、引き続き貢献していく所存です。